

YAMAMOTO GENDAI

山本現代

3-1-15-3F, Shirokane Minato-ku TOKYO 108-0072 Japan tel&fax.81(0)3-6383-0626

PRESS RELEASE

ENOKI Chu

LSDF-014

4th October – 1st November 2014

山本現代 10周年記念

YAMAMOTO GENDAI 10th Anniversary

LSDF-014

榎忠

ENOKI Chu

2014年10月4日(土)～11月1日(土)

Sat, 4<sup>th</sup> October – Sat, 1<sup>st</sup> November 2014

日月祝休廊 Closed on Sunday, Monday and National Holiday

開廊時間:11時～19時 Gallery hours: 11:00-19:00

オープニングレセプション&祝砲パフォーマンス:2014年10月4日(土) 18:00 - 20:00

Opening reception & Salute performance: Sat. 4th October, 2014 18:00 – 20:00

お問い合わせ: 山本現代

108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072

tel.03-6383-0626 fax.03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

株式会社山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F tel/fax.03-6383-0626

各位

拝啓 晩夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素より並々ならぬご高配、ご高覧を賜り誠にありがとうございます。

さて、わたくしども山本現代では、開廊 10 周年を記念し、来る 2014 年 10 月 4 日から 11 月 1 日まで、

### 榎忠 「LSDF-014」

を開催いたしますのでご案内申し上げます。

活動歴 40 年を優に超える榎ですが、本展は東京で開催する初めての個展となります。今回の展覧会は、私共山本現代の開廊 10 周年記念の展覧会で、榎忠の過去最大サイズの大砲と、原点となる初期の大砲を、一同に展示します。またオープニングレセプションに併せて、展示作品を実際に使って祝砲パフォーマンスを行います。

1944 年に香川県に生まれた榎忠(えのき・ちゅう、通称・エノチュウ)は神戸を拠点に活動を続けてきました。20 代から独学で油画を描き始め、その後「ハプニンググループ ZERO」で非日常的ハプニングを中心とした表現活動を 6 年間展開した後、自らの制作活動に没頭していきます。

1977 年には自身の右半身のすべての体毛-頭髪、髭などを剃り当時社会主義国であったハンガリーに旅行に行くパフォーマンス「ハンガリー国にハンガリ(半刈り)で行く」を発表しました。また、榎忠はこの後 4 年間、半刈りの姿の状態ですべての社員生活を続けたのです。この頃から榎忠の表現は一貫して自身の日常生活に力点を置くものになりました。

半刈りパフォーマンスについて榎忠は次のように語っています。

「生の、生きてる人間を見せたかった。作品にするためじゃなくて、生きるためにやってるの。」<2011 年、出典：『榎忠展 美術館を野生化する(兵庫県立美術館)』カタログより>

一般の金属加工会社で旋盤工の社員として定年まで勤めあげた彼の視線は、常に等身大の制作活動の礎であり続けました。

1979 年「アート・ナウ'79」にて榎忠は、兵庫県立近代美術館の屋外に全長 8m の大砲を展示しました。作品とともに掲げられた「わが家の防衛対策は“一家に一台大砲を”」というメッセージは、権力や体制に真っ向から対立することではなく、自らを取り巻く多様な問題に向けるべき強いまなざしを表し、当時の美術界を圧倒しました。

また、大砲に刷り込まれた LSDF(Life Self Defense Force)＝「自分の生活は自分でまもる」とは、榎忠の人生を貫く信念であり、それを初めて記した作品でした。

お問い合わせ： 山本現代  
108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072  
tel.03-6383-0626 fax.03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

YAMAMOTO GENDAI

# 山本現代

3-1-15-3F, Shirokane Minato-ku TOKYO 108-0072 Japan tel&fax.81(0)3-6383-0626

PRESS RELEASE

ENOKI Chu

LSDF-014

4th October – 1st November 2014

以降榎は、日常の目には見えぬ脅威を題材に作品を展開し、80年代に入ると総重量25tの巨大機械彫刻「スペースロブスター」や、「原子爆弾 Little Boy U235/Fat Man Pu239」を、90年代には百万発の使用済薬莖を展示。00年代には大量の銃を鋳造した作品「AK-47/AR-15」や、ボルトなどの工業部品をひとつひとつ辛抱強く積み上げて構成した見事な作品「RPM-1200」を発表。その合間をぬって時折出現するローズ・バーなど、ハードコアかと思えば精密で繊細さに満ちた、全法的な作品の発表を続けています。

榎忠の鋭敏な感受性が反映された禍々しくも美しいこれらの作品は、その肢体の美しさだけをただ正視する楽観も許さず、圧倒的な迫力で観るものの思考を揺さぶり続けています。

今まで榎忠は、住み慣れた神戸を含む関西以外で作品を発表することに、あまり必要性を感じていませんでした。それはあくまで日常生活の延長上で制作を続ける彼のスタイル故に、極自然なことでもありました。

しかし、昨今の特定秘密保護法案や、集団的自衛権行使容認の閣議決定、武器輸出三原則の見直しなど、日本政府の動向に対する危機感が、今回の個展へと榎忠を突き動かしました。

長年にわたり銃や大砲など武器をモチーフとしてきた作家にとって避けては通れない、使命感にも似た感情とともに、今回の個展に臨みます。今まで制作したどの作品よりも大きく凶暴な大砲で、東京を、政府を、世の中を問うと榎忠は言います。

今年で古希を迎えたとは到底感じさせない、迫力ある大作をこの機会に是非ご覧ください。

つきましては、はなはだ略儀ながら、本展の広報にご協力をお願い申し上げます。詳細情報、参考画像等ご用意しておりますので、どうぞご用命ください。

末筆になりましたが、皆様のいよいよのご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具

山本現代

2014年8月

お問い合わせ： 山本現代

108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072

tel.03-6383-0626 fax.03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

株式会社山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F tel/fax.03-6383-0626

YAMAMOTO GENDAI

山本現代

3-1-15-3F, Shirokane Minato-ku TOKYO 108-0072 Japan tel&fax.81(0)3-6383-0626

PRESS RELEASE

ENOKI Chu

LSDF-014

4th October – 1st November 2014

《参考図版》



「榎忠展 美術館を野生化する」展示風景 兵庫県立美術館 2011年

撮影:豊永政史 (SANDWICH GRAPHIC)

お問い合わせ: 山本現代

108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072

tel.03-6383-0626 fax.03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

株式会社山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F tel/fax.03-6383-0626

YAMAMOTO GENDAI

山本現代

3-1-15-3F, Shirokane Minato-ku TOKYO 108-0072 Japan tel&fax.81(0)3-6383-0626

PRESS RELEASE

ENOKI Chu

LSDF-014

4th October – 1st November 2014



榎忠アトリエにて 制作風景 2014年

撮影:池内美絵

お問い合わせ: 山本現代

108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072

tel.03-6383-0626 fax.03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

株式会社山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F tel/fax.03-6383-0626

YAMAMOTO GENDAI

# 山本現代

3-1-15-3F, Shirokane Minato-ku TOKYO 108-0072 Japan tel&fax.81(0)3-6383-0626

PRESS RELEASE

ENOKI Chu

LSDF-014

4th October – 1st November 2014

## 履歴

1944 香川県善通寺市に生まれる

## 個展

- 1968 「生成」ギャラリー新光、兵庫
- 1973 「Yellow Angels」神戸市道、兵庫  
「WE CAPTURED A SMALL UFO AT LAST!」神戸サンプラザ喫茶パール、兵庫／ギャラリー16、京都
- 1977 「EVERYDAY LIFE MULTI」自宅、兵庫
- 1979 「BAR ROSE CHU」東門画廊、兵庫
- 1981 「ポートピア'81 テーマ館」神戸ポートアイランド博覧会、兵庫
- 1982 「U-235 Life Self Defense Force」花銀別館大西ビル、兵庫
- 1983 「我が家の防衛対策(LSDF)展」靱ギャラリー、大阪
- 1985 「2・3・7・8 TCDD Propagation」喫茶スズヤ、兵庫
- 1990 「地球の皮膚を剥ぐ 5,000,000年の動脈」学園東町、兵庫
- 1992 「薬莢」ギャラリーミウラ、兵庫
- 1994 「GILLOTINE SHEAR・1250」JR神戸駅 浜の手出口より西高架下 No.50、兵庫
- 1995 「GILLOTINE」集雅堂ギャラリー、大阪
- 1999 「榎忠の EVERYDAY LIFE」ギャラリー16、京都  
「JUST NOW」関西コンテンポラリーアートラボラトリー(KCAL)、兵庫
- 2000 「PLAY STATION YOU ARE ON DUTY」グスト・ハウス、兵庫
- 2001 「MADE IN KOBE」中京大学アートギャラリーC・スクエア、愛知
- 2002 「MADE IN KOBE L・S・D・F」京都精華大学ギャラリーフロール、京都
- 2006 「その男、榎忠」KPO キリンプラザ、大阪  
「EVERYDAY LIFE/ART」ノマル・プロジェクトスペース、大阪
- 2008 「この男、危険。榎忠展」札幌宮の森美術館、北海道
- 2010 「榎忠 HAZ 展」HAZ、兵庫
- 2011 「榎忠展 美術館を野生化する」兵庫県立美術館、兵庫
- 2012 「誰がために大砲は鳴る」CAPSULE、SUNDAY、東京
- 2014 「PATRONE-35」Port Gallery T、大阪

お問い合わせ： 山本現代  
108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072  
tel. 03-6383-0626 fax. 03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

株式会社山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F tel/fax. 03-6383-0626

## グループ展

- 1965 二紀展出品(～1969)
- 1970 「大デッサン展」さんちか広場、兵庫 ※洋画研究所《0》として
- 1971 「虹の革命」兵庫 ※グループ ZERO として  
「現象としての人間研究所」さんちかギャラリー、兵庫 ※グループ ZERO として
- 1972 「Japan Kobe Zero」信濃橋画廊、大阪 ※Japan Kobe Zero として  
「白い布、400 のハプニング」兵庫 ※Japan Kobe Zero として  
「Japan Kobe Zero 研究所展」さんちかギャラリー、兵庫 ※Japan Kobe Zero として
- 1973 「京都アンデパンダン展」京都市美術館、京都 ※Japan Kobe Zero として  
「イメージの箱」神戸市内、兵庫 ※Japan Kobe Zero として  
「1973 京都ビエンナーレ 集団による美術」京都市美術館、京都 ※Japan Kobe Zero として
- 1974 「'74 Zero 研究所展」兵庫県民会館、兵庫 ※Japan Kobe Zero として
- 1975 「アートナウ'75 TREE」兵庫県立近代美術館、兵庫 ※Japan Kobe Zero として  
「京都アンデパンダン展」京都市美術館、京都 ※Japan Kobe Zero として  
「仮称 EXIHIBISM 方法から方法へ」神奈川県立県民ホール・ギャラリー、神奈川 ※Japan Kobe Zero として
- 1976 「HARVEST」信濃橋画廊、大阪／兵庫県氷上郡 ※Japan Kobe Zero として
- 1979 「アートナウ'79」兵庫県立近代美術館、兵庫
- 1984 「第9回神戸須磨離宮公園現代彫刻入選候補作品展」ギャラリーさんちか、兵庫
- 1986 「神戸現代アートフェスティバル '86」さんちかホール／ギャラリーさんちか、兵庫
- 1991 「Seven Artist Aspects of Contemporary Japanese Art」  
サンタモニカ美術館、アメリカ／ポートランド美術館、アメリカ／オレゴン・アート・インスティテュート、アメリカ／  
タマヨ美術館、メキシコシティ／ニューオーリンズ現代美術センター、アメリカ(巡回 ～1992)  
「芸術と日常 反芸術／汎芸術」国立国際美術館、大阪
- 1992 「セブン・アーティスト-今日の日本美術帰国展」名古屋市美術館、愛知
- 1994 「関西の美術 1950's～1970's 創造者たちのメッセージ」兵庫県立近代美術館、兵庫
- 1995 「名古屋コンテンポラリーアートフェア」名古屋市民ギャラリー、愛知
- 1996 「神戸招待現代美術展 Art After Quake Its continuity and change」こうべまちづくり会館ギャラリー、兵庫  
「さよなら同潤会代官山アパート展 再生と記憶」同潤会代官山アパート、東京  
「PICO<sup>2</sup> SHOW」佐賀町カフェ、東京

お問い合わせ： 山本現代  
108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072  
tel. 03-6383-0626 fax. 03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

- 1997 「発信する現代美術 WE ARE HERE AGAIN 兵庫アートウィーク・イン東京～地震のあとに生まれた芸術～」  
新宿パークタワー ギャラリー1、東京  
「表出する大地」 広島市現代美術館、広島
- 1998 「K.C.A.L」 関西コンテンポラリーアートラボラトリー (KCAL)、兵庫
- 2000 「震災と美術-1.17 から生まれたもの」 兵庫県立近代美術館、兵庫  
「空き地」 豊田市美術館、愛知
- 2003 「未来予想図～私の人生☆劇場」 兵庫県立美術館、兵庫
- 2004 「BIWAKO ビエンナーレ 2004 QUANTUM LEAP」 近江八幡市旧市街、滋賀  
「痕跡―戦後美術における身体と思考」 東京国立近代美術館／京都国立近代美術館(巡回 ～2005)
- 2006 「現代美術と子供をテーマにしたコレクション展 秘密基地」 豊田市美術館、愛知
- 2007 二人展「ギユウとチュウ 篠原有司男と榎忠」 豊田市美術館、愛知  
「感情の強盗」 BankART Studio NYK、横浜  
「六本木クロッシング 2007 日本の新しい脈動」 森美術館、東京
- 2008 「『饗宴』―シンポジオン―」 アート・スペース其の延長、京都  
「FIX・MIX・MAX!2―現代アートのフロントライン[最前線]―」 札幌宮の森美術館、札幌
- 2009 「Reborn」 ギャラリーノマル、大阪  
「神戸ビエンナーレ 2009」 神戸港ドルフィン／兵庫県立美術館ギャラリー棟、兵庫
- 2010 「1日だけの展覧会『ハガキ』」 信濃橋画廊、大阪
- 2011 「鉄に挑む熱き男たち 植松奎ニ+塚脇淳+榎忠」 BB プラザ美術館、兵庫
- 2012 「第一回 C.A.J. アーティスト インレジデンス 篠原有司男・榎忠展」  
埼玉県立近代美術館 地下一階ギャラリー、埼玉  
「Opening ceremony SALUTE C2H2 de SHUKUHO」 祝砲酒造資料館、和歌山  
「代官山アートストリート NOT AUTHORITY, BUT ART. 常識に尻を向けろ。」 代官山 旧山手通り周辺施設、東京  
「再生/メード・イン・ジャパン」 KUNST ARZT、京都
- 2013 「春の歓び!かみのとアート回廊 みなとの作家展 榎忠『大いなる祝砲』披露」 神戸波止場町 TEN×TEN、兵庫  
「記憶の記録 ～大地のエネルギー～」 アート空間#161、兵庫
- 2014 「Favorite Books (59名の“Favorite”展)」 ギャラリーノマル、大阪

お問い合わせ： 山本現代  
108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072  
tel. 03-6383-0626 fax. 03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)



YAMAMOTO GENDAI

# 山本現代

3-1-15-3F, Shirokane Minato-ku TOKYO 108-0072 Japan tel&fax.81(0)3-6383-0626

PRESS RELEASE

ENOKI Chu

LSDF-014

4th October – 1st November 2014

## その他の活動

- 1986 モニュメント AMAMAMA 設置、尼崎記念公園、兵庫
- 1994 東仲一矩フラメンコ舞踏「葵上」 舞台美術、神戸文化ホール、兵庫
- 1999 「寓の木星」 舞台美術、ルナホール、兵庫  
モニュメント SPORE-GO 等 設置、HAT 神戸・灘の浜、兵庫
- 2000 東仲一矩フラメンコ舞踏 「葵上」舞台美術、ルナホール、兵庫
- 2008 株式会社 森精機製作所 企業 TVCM「この世界に、精密な部品を。」(2008.10～2009.3)
- 2012 KIITO : OPENING EVENT オープニングセレモニー「榎忠 祝砲パフォーマンス × 三田村管打団？」、  
KIITO デザイン・クリエイティブセンター、兵庫  
札幌宮の森美術館グランドオープン オープニング・イベント「榎忠／祝砲パフォーマンス」[Bar Rose Chu MIYANOMORI]、  
札幌宮の森美術館、札幌
- 2013 兵庫県立ものづくり大学校オープニング式典 祝砲パフォーマンス、兵庫県立ものづくり大学校、兵庫  
劇団態変「ミズスマシ」 舞台美術、AI・HALL、兵庫

## 受賞歴

- 2008 第32回 井植文化賞受賞
- 2009 神戸文化賞受賞
- 2013 紺綬褒章

お問い合わせ： 山本現代  
108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F 3-1-15-3F, Shirokane, Minato-ku, TOKYO 108-0072  
tel.03-6383-0626 fax.03-6383-0626 [i@yamamotogendai.org](mailto:i@yamamotogendai.org)

株式会社山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F tel/fax.03-6383-0626